

福祉用具の保険給付の在り方に関する改善のための論点

資料4

報告書からの抽出(※)		現行制度における課題		改善のための論点
			報告書以外に参考とする資料(案)	
I	(P60) 価格の最大値が平均値等と比較すると非常に高額になっているケースが存在	価格差ではなく、記入ミスや不正請求と推測される外れ値が存在しているのではないか。	参考資料5 国保連合会介護給付適正化システム	
II	(P84) 利用者調査において、事業所を選択する際に「価格はほとんど考慮しなかった」と回答した利用者は約半数で、その理由の43.5%は「介護支援専門員の判断にまかせている」と回答しており、続いて27.6%が「サービス内容を重視しているので、価格にはこだわらない」と回答している。 (P85) 利用者が事業者の選択を行う際の情報の不足やそれを活用して自ら選択する環境にはない。	利用者は適切な情報を得た上で選択を行っているか。		
		市場原理が働いていないのではないか。		

抽出

(※)平成18年度老人保健健康増進等事業「介護保険における福祉用具の貸与の実態に関する調査研究事業 報告書」(19.3(財)テクノエイド協会)

福祉用具の保険給付の在り方に関する改善のための論点

資料4

報告書からの抽出(※)	現行制度における課題		改善のための論点
		報告書以外に参考とする資料(案)	
Ⅲ (P95) 推定された回収期間は、車いすが約47ヶ月、特殊寝台が約32ヶ月、歩行補助つえが約9ヶ月となるが、より詳細な分析が必要と思われる。	平均貸与期間が平均回収期間を超えて貸与される種目は、貸与という給付方式になじまないのではないかと。	・全種目の平均回収期間、平均貸与期間、平均貸与価格 ・全種目のメーカー希望小売価格	

抽出

(※)平成18年度老人保健健康増進等事業「介護保険における福祉用具の貸与の実態に関する調査研究事業 報告書」(19.3(財)テクノエイド協会)

福祉用具の保険給付の在り方に関する改善のための論点

資料4

報告書からの抽出(※)	現行制度における課題		改善のための論点
		報告書以外に参考とする資料(案)	
IV (P97) 実利用者1人あたりの訪問回数別に、福祉用具1件あたり福祉用具調達費用以外の費用を基に算出した指数を比較すると、1ヶ月に1回以上の場合が最も高いが、訪問回数との間に一定の傾向は見られない。 (P98) サービス内容に見合う対価に着目した価格の在り方を明確化	①現に貸与に要した費用の中に不明瞭なコストが存在しているのではないか。 ②人的サービス、物的サービス両方を分ける必要があるのではないか。 ③提供するサービスに対する価格は適切かどうか。 ④サービスの質の内容は確保されているか。	・薬価の価格設定の考え方 ・レンタル価格設定の考え方(コスト構造)	

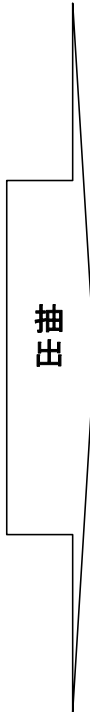
抽出

(※)平成18年度老人保健健康増進等事業「介護保険における福祉用具の貸与の実態に関する調査研究事業 報告書」(19.3(財)テクノエイド協会)

福祉用具の保険給付の在り方に関する改善のための論点

資料4

報告書からの抽出(※)	現行制度における課題		改善のための論点
		報告書以外に参考とする資料(案)	
V (P74) 電動ギャッジベッドは比較的長期間貸与を受ける傾向にあるが、介助用車いす、後輪駆動式車いすは1～2ヶ月の短期間で返却する場合と、35ヶ月以上の長期間貸与を受ける場合の二極化が見られる。	利用者の状態像の予後に応じた用具の給付が行われているのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・短期間及び長期間利用者の状態像の特徴 ・状態像の変化予測(予後予測)の考え方 	



(※)平成18年度老人保健健康増進等事業「介護保険における福祉用具の貸与の実態に関する調査研究事業 報告書」(19.3(財)テクノエイド協会)